

令和4年度において国のデジタル田園都市都市国家構想交付金を活用して実施した事業の効果検証 ～国の基準による効果検証～

資料5

No.	まちづくりビジョンの基本方向	タイプ	交付対象事業の名称	取組内容	交付金の種類(補助率)	実績額(事業費) 単位:円 ※連携事業の場合は本市分の事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実績値	今後の方針	
							指標	指標値	単位	目標年月			
1	4-5 皆生温泉のまちづくり	地方創生推進タイプ	海・砂浜・温泉街を活用した「白砂青松の海遊りゾーン」創生による皆生温泉まちづくり推進プロジェクト	<p>1皆生温泉振興組織の構築 民間主体のまちづくりプラットフォーム「皆生温泉エリア経営実行委員会」の活動を継続し、住民を交えた米子市観光センターのあり方検討会の開催、住民アンケート調査、駐車場シェアリングサービスの導入等の事業を実施した。</p> <p>2ビーチの新たな利活用の促進 砂浜に面した海岸遊歩道への人流増加を目的とし、電動ファットバイクを購入し、レンタサイクルとして米子市観光センターにおいて有償貸出サービスを開始した。</p> <p>3海と温泉街の一体感の醸成(海岸遊歩道等における付加価値創出) ・1旅館の通り沿いの外観改修・ベンチ整備を支援し、歩行者の滞留空間造成を実現した。 ・2旅館の街灯の照明リニューアルを支援し、夜景空間の魅力向上を実現した。</p> <p>4メインストリートの活性化 ・メインストリート沿いの空き地等に飲食屋台・憩いの空間を設置し、来訪者の回遊を促すまち歩き実証実験を実施した。 ・空き不動産の見える化を実施し、9軒の新規出店を実現した。</p>	①デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)(1/2)	21,269,553	指標①	砂浜を含む皆生温泉Tライン周辺における新規造成店舗・体験コンテンツ等滞留・消費拠点への入込客数	R5年度において 67,200 ※R4目標:64,800	人	R5.3	73,000	<p>引き続き、振興組織「皆生温泉エリア経営実行委員会」を母体に以下の方針で事業展開する。</p> <p>【ハード事業】 R3～R4で一定のハード整備が完了。今後は、官民でまちなみを整備・維持していくための指針を検討する。</p> <p>【ソフト事業】 まち歩き実証実験を軸にした事業者誘致や空き不動産の活用機運醸成の取り組みを継続する。</p>
							指標②	SNSのポジティブ投稿数	R5年度において 29,900 ※R4目標:28,600	件	R5.3	42,150	
							指標③	米子市観光入込客数	R5年度において 1,108,000 ※R4目標:1,080,000	人	R5.3	926,000	
							指標④	皆生温泉入湯客数	R5年度において 441,585 ※R4目標:429,085	人	R5.3	337,737	
2	4-7 広域連携による観光振興	地方創生推進タイプ	<p>「観光から関係人口・企業移転」までを「標高0mから大山頂上」で切れ目なく受け入れ、来訪者の幸せ実現をめざす大山・日野川圏域</p> <p>Yonagoマチノヒカリ2022、弓ヶ浜サイクリングコース魅力向上事業、刀剣たたら関連事業(出雲圏域との連携)、サイクリング聖地化事業、サイクリング岡山県との連携事業、関係人口創出・拡大事業、関係人口・地域収益モデル確立支援事業(補助金)、広域観光・交流共通基盤事業</p>	①デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)(1/2)	9,039,335	指標①	大山・日野川圏域への再来訪意向	R5年度において 70 ※R4目標:65	%	R5.3	74%	<p>引き続き、認定された地域再生計画『「観光から関係人口・企業移転」までを「標高0mから大山頂上」で切れ目なく受け入れ、来訪者の幸せ実現をめざす大山・日野川圏域』に基づき、交付金を活用して取り組むこととしている。</p> <p>現行交付金計画(R3～5)終了後に向けて、令和6年度以降の新たな財源確保、事業の見直し及び更なる民間参画の推進に向けた調整を進めていく。</p>	
						指標②	本事業を通じた関係人口支援人数	R5年度において 700 ※R4目標:200	人	R5.3	3,019人		
						指標③	モデル事業者における売上・収益目標の達成比率	R5年度において 70 ※R4目標:60	%	R5.3	47%		
3	-	デジタル実装タイプ(TYPE1)	スマートスピーカーを活用した高齢者の見守り事業	②デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)(1/2)	3,368,051	指標①	利用者からの返答率	R6年度において 90 ※R4目標:75	%	R5.3	49%	<p>スマートスピーカーの利用を希望された方が継続して利用することにより、孤立化を防ぎ、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、日本郵便(株)による月1回の見守り訪問によるスマートスピーカーの利用促進についてのフォローを実施する。</p>	
						指標②	利用満足度(本人及び家族)	R6年度において 95 ※R4目標:75	%	R5.3	現在計測中 ※9月以降公表予定		

【凡例】

交付金の種類

- ①デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ):「地方版総合戦略」に定められた地域再生計画に基づく事業の実施を支援すること目的とする交付金(補助率1/2)。
- ②デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ):デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に資する取組を支援すること目的とする交付金(補助率1/2又は10/10)。